

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 結核 261 例
- 3 類感染症: 細菌性赤痢 8 例 (感染地域: 東京都 5 例*, インドネシア 3 例) *大学における検査実習による集団発生、腸管出血性大腸菌感染症 165 例 (うち有症者 103 例, うち HUS 6 例) [感染地域: すべて国内 国内の多い感染地域: 熊本県 21 例, 埼玉県 20 例, 東京都 18 例, 兵庫県 12 例 年齢群: 10 歳未満 (56 例), 10 代 (22 例), 20 代 (32 例), 30 代 (21 例), 40 代 (7 例), 50 代 (12 例), 60 代 (10 例), 70 歳以上 (5 例) 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2 (56 例), O157 VT2 (53 例), O111VT1・VT2 (19 例), O26 VT1 (14 例), O111 VT1 (4 例), O121 VT2 (2 例), O157 VT1 (2 例), O25 VT2 (1 例), O63 VT2 (1 例), O119 VT1 (1 例), O145 VT1 (1 例), O145 VT2 (1 例), O165 VT1・VT2 (1 例), O165VT1 (1 例), その他/不明 (8 例)], 腸チフス 1 例 (感染地域: 大阪府)
- 4 類感染症: A 型肝炎 3 例 (感染地域: 兵庫県 1 例, 国内 (都道府県不明) 1 例, 英領ピトケアン島 1 例), つつが虫病 1 例 (感染地域: 青森県), デング熱 4 例 (感染地域: タイ 2 例, マレーシア 1 例, ネパール 1 例), 日本紅斑熱 3 例 (感染地域: 三重県 2 例, 広島県 1 例), マラリア 1 例 (三日熱 感染地域: ブラジル), レジオネラ症 12 例 (すべて肺炎型) [年齢群: 40 代 1 例, 50 代 5 例, 60 代 5 例, 70 代 1 例 感染地域: 滋賀県 2 例, 和歌山県 2 例 (ともに温泉), 山形県 1 例, 埼玉県 1 例, 長野県 1 例, 愛知県 1 例, 大阪府 1 例, 岡山県 1 例, 熊本県 1 例, 国内 (都道府県不明) 1 例]
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 8 例 (腸管アメーバ症 7 例, 腸管外アメーバ症 1 例) [感染地域: 国内 6 例, 中国 1 例, タイ 1 例 感染経路: 経口 1 例, 性的接触 3 例 (異性間 2 例, 同性間 1 例), 不明 4 例], ウイルス性肝炎 5 例 (すべて B 型 感染経路: 性的接触 4 例 (すべて異性間), 不明 1 例), 急性脳炎 3 例 (A 型インフルエンザウイルス 1 例 (3 歳), 病原体不明 2 例 (ともに 1 歳)), クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例 (ともに孤発性プリオン病古典型), 後天性免疫不全症候群 18 例 (AIDS 2 例, 無症候 16 例) [感染地域: 国内 15 例, 国内/オーストラリア 1 例, 国外 (国不明) 2 例 感染経路: 性的接触 15 例 (異性間 2 例, 同性間 11 例, 異性間・同性間 2 例), 不明 3 例], 梅毒 12 例 (早期顕症 I 期 2 例, 早期顕症 II 期 5 例, 無症候 5 例)

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県 (13.69)、宮崎県 (0.93)、福島県 (0.43) が多い。沖縄県は 4 週連続で増加している。

小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 157 例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の約 64% を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では埼玉県 (1.05)、高知県 (1.00)、山形県 (0.93) が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第 23 週以降減少が続いているが、過去 5 年間の同時期 (前週、当該週、後週) と比較してやや多い。都道府県別では茨城県 (2.7)、埼玉県 (2.7)、富山県 (2.5)、秋田県 (2.5)、山形県 (2.5) が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第 21 週以降減少が続いているが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では大分県 (10.6)、福井県 (6.9)、三重県 (6.0)、滋賀県 (6.0) が多い。水痘の定点当たり報告数は 25 週以降減少が続いている。都道府県別では長野県 (1.98)、埼玉県 (1.52)、新潟県 (1.49)、宮城県 (1.48) が多い。手足口病の定点当たり報告数は第 19 週以降増加が続いている。都道府県別では和歌山県 (11.9)、熊本県 (7.1)、福島県 (6.9)、福岡県 (5.2) が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は 2 週連続で減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では長野県 (3.8)、新潟県 (2.5)、宮城県 (1.8) が多い。百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では徳島県 (0.17)、熊本県 (0.17)、沖縄県 (0.12)、大阪府 (0.06)、福岡県 (0.06) が多い。風しんの報告数は 9 例と 3 週連続で減少した。都道府県別では広島県 2 例、埼玉県、千葉県、神奈川県、京都府、大阪府、兵庫県、沖縄県より各 1 例であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第 19 週以降増加が続いている。都道府県別では福井県 (10.5)、宮崎県 (9.4)、徳島県 (8.3)、愛媛県 (8.3) が多い。麻しんの報告数は 24 週以降減少が続いており、17 都道府県から 73 例の報告があった。都道府県別では大阪府 12 例、千葉県、東京都から各 11 例、北海道 9 例、神奈川県 6 例、埼玉県 4 例、福島県、茨城県、福岡県から各 3 例、長野県、京都府、広島県から各 2 例の順であった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では愛媛県 (1.5)、新潟県 (1.3)、高知県 (1.3) が多い。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では沖縄県 (3.4)、福島県 (2.4)、宮城県 (2.2) が多い。成人麻しんの報告数は第 22 週以降減少が続いており、7 都道府県から 12 例の報告があった。都道府県別では、東京都 4 例、長野県、大阪府から各 2 例、福島県、神奈川県、岡山県、福岡県から各 1 例の報告があった。

1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点								
	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん	
(定点当たり)																						
愛媛県	.1	.1	.1	1.4	5.6	1.3	.7	.7	1.3	.0	8.3	1.5	2.1					.3				
近県	香川県	.0	.2	.4	1.0	3.3	.6	.1	.8	.8	4.8	.2										
	徳島県	.0	.2	.6	1.7	1.0	.7	.7	.8	.2	8.3	.0	.2									
	高知県	.1	1.0	.6	2.4	.8	.1	1.6	.6	.0	2.8	1.3	.7									
全国	.2	.1	.5	1.6	3.9	1.1	1.9	.8	.8	.0	4.3	.0	.5	.0	.8	.0	.0	.4	.0	.0	.0	
北海道	.0	.1	.5	2.2	2.2	1.3	.0	1.1	.6	.0	.6	.1	2	1.3				.2				
東北	.1	.2	.6	1.6	3.2	1.1	2.4	1.1	.8	.0	1.6	.0	.6	.0	.5	.0	.0	.9	.1	.0	.0	
関東	.0	.0	.6	1.9	4.2	1.2	2.2	.8	.8	.0	4.2	.0	.4	.0	1.1	.0	.0	.3		.1	.1	
甲信越北陸			.6	1.7	3.6	1.5	1.0	2.2	.6	.0	3.6	.0	.5	.0	.5	.0	.1	.2	.1	.0	.0	
東海		.0	.4	1.7	3.8	1.2	1.0	.6	.9	.0	5.0	.5	.0	.5	.1	.0	.0	.4				
近畿	.0	.1	.5	1.3	4.2	1.0	1.8	.6	.7	.0	5.6	.0	.6	.4			.0	.1	.0	.0	.0	
中国四国	.0	.1	.5	1.2	3.7	.9	.7	.6	.8	.0	4.5	.0	.5	.0	.9	.0	.0	.3			.0	
九州沖縄	1.3	.1	.5	1.2	4.3	1.0	3.8	.3	1.0	.0	5.9	.0	.5	.1	.9	.1	.1	.5	.0	.0	.0	

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。 (7月18日集計) 愛媛県基幹感染症情報センター

全国 全数把握感染症 第28週 (2007.7.9 ~ 7.15)

類 型	二類	三類感染症					四類感染症														五類感染症																	
		(2)結核	(1)コレラ	(2)細菌性赤痢	(3)腸管出血性大腸菌感染症	(4)腸チフス	(5)パラチフス	(1)E型肝炎	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(10)Q熱	(12)コクシジオイデス症	(18)つが虫病	(19) Dengue熱	(23)日本紅斑熱	(24)日本脳炎	(28)ブルセラ症	(30)発疹チフス	(32)ポツリヌス症	(33)マラリア	(35)ライム病	(39)レジオネラ症	(40)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢	(2)ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染症
第28週報告数	全 国	261		8	165	1		3					1	4	3					1	12			8	5	3		2		18					13			
	四 国	愛 媛 県	6			3																														1		
		香 川 県																									1											
		徳 島 県	3																																			
		高 知 県																																				
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道	9			2		1																												1		
		東 北 道	24			9								1									1				1	1							1			
		関 東 圏	73		7	62									4								2		5	1	1		1				14			3		
		甲信越北陸	18			10																		1														
		東 海 道	40			6			1												1															1		
近 畿 圏		29			28	1		1																3	2										1			
中国四国		24			7											1							1			1									1			
九州沖縄	44		1	41																			1				1								5			
週 推 移	全 国	28週	261		8	165	1		3				1	4	3					1	12			8	5	3		2		18					13			
	27週	217		5	142		1	5					1	2	3				2		18		7	5	1		2		13	3			15	2				
	26週	242		5	89			1	2						1				1	1	13		7	3	3		3	1	13	2			9	2		1		
	25週	220		3	98	1	1	1	2				3	2					1		12		6	2	1		1		5				5	1		1		
2007年累積数	全 国	5429	8	263	1376	18	8	31	92	9	19	3	2	90	35	18	1	1		2	25	2	273	3	408	112	129	4	86	56	742	25	11		333	44		37
	四 国	愛 媛 県	106		3	11			1							1							1		2	1	1		5		4				5			
		香 川 県	19		1	2							3												1		1			1	3				3			
		徳 島 県	61			2																	1				2						1					
		高 知 県	47			2			1															1	5			3	1	2					2			
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道	146		2	13	1	6	3	7	1										1	1	13		8	5	3		2	5	9				6		1	
		東 北 道	323	1	9	54	3	2	10		2			36	1						2		20		24	8	7		2	5	24		2		16	6	3	
		関 東 圏	1436	4	132	518	5	4	5	28	2	7		2	8	14							75	2	176	33	39	1	22	17	377	18	3		125	13		20
		甲信越北陸	343		9	145	1	1	5					9	1								29	1	15	6	9	1	7	3	20				15	3	3	
		東 海 道	863		33	66	2	14	9		2			4	4	3					1		47		46	7	3		10	5	114		1		53	3	5	
近 畿 圏		815	3	57	203	6	2	3	18		5		10	9	3		1			6		41		91	27	31		17	6	126	5	2		28	4	4		
中国四国		618		15	116			8	1	3			6	2	5	1				1		24		19	19	11	1	15	8	24	2			25				
九州沖縄	885		6	261			11		1			17	4	7							24		29	7	26	1	11	7	48		3		65	15		1		

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。
 ・2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。